

歌舞伎

三鷹

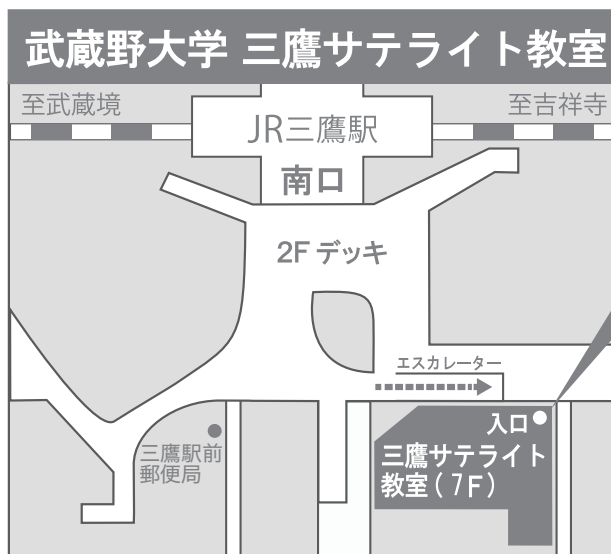
0401008

# 歌舞伎の見方・味わい方

— 通し狂言『仮名手本忠臣蔵』前編 —

受講料 (振込額)	6,000円				
必携テキスト	——				
講座概要	曜日	火曜日		日程	
	時間	13:00～14:30			
	回数	全3回	定員		20名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講師	本学客員教授・元本学能楽資料センター長 <b>羽田 昶</b> (はた ひさし)				
	1939年(昭和14)東京生。國學院大學文学部卒。海城高等学校・開成高等学校教諭、東京国立文化財研究所芸能部研究員、室長を経て、2000-2010年(平成12-22)武蔵野女子大学(武蔵野大学)教授。その間、2002年(平成14)より同大学能楽資料センター長。現在、武蔵野大学客員教授、同大学能楽資料センター研究員。専攻は能・狂言を中心とする演劇研究。観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。 著書(共著)に『狂言・鑑賞のために』(1974、保育社)、『能・本説と展開』(1977、桜楓社)、『能の作者と作品』(1987、岩波書店)、『能の囃子事』(1990、音楽之友社)、『能楽大事典』(2012、筑摩書房)、『昭和の能楽 名人列伝』(2017、淡交社)ほか。				
内容	「仮名手本忠臣蔵」は「義経千本桜」「菅原伝授手習鑑」とならんで三大名作といわれる義太夫狂言の代表作です。しかも、通しで上演されることが多いため、一貫したストーリー展開の中に、立役・敵役・二枚目・女方など歌舞伎のあらゆる役柄が登場し、あらゆる演技・演出の様式を見ることができます。いわば、歌舞伎の魅力と醍醐味満載の演目です。原作の浄瑠璃との異同も考えながら、近代歌舞伎の、洗練され到達した忠臣蔵を鑑賞したいと思います。				
	① 6月7日：三段目—高師直の収賄、松の廊下の刃傷 ② 6月14日：四段目—判官切腹、由良之助の苦衷と決意 ③ 6月21日：落人—お軽・勘平の道行				

# 武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013

東京都三鷹市下連雀3丁目26-12  
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線  
東京メトロ東西線  
JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F  
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・「受講の手引き」「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのお願い」を必ずお読みの上、ご参加ください。